

第6回講義感想

岡山県立津山高等学校
福寺航大

8月2日には、角谷賢二先生にミュオグラフィアートに関する講義をしていただいた。はじめて聞いた言葉だったこともあり、事前資料に目を通してミュオグラフィアートのことは完全に理解できなかった。そのような状態で講義に臨んだが、逆に一層集中した状態で受講することができたように思う。

ミュオグラフィについての講義では、実用例が挙げられており、ピラミッドや古墳の内部調査に用いられること、サウンドやアートにも応用できることを知った。科学技術とアートのコラボでは、整然としているような科学技術が神秘性を生み出すことに強い関心を抱いた。今回の講義でミュオグラフィを身近に感じられる機会にもなった。

コロナの流行が落ち着いたら、ぜひ美術館に足を運んで、科学と芸術のコラボを目の当たりにしたい。